

ゆいのき ミニ

必要は発明の母

速報版 22

R2.10.15

室田和宏

2学期が始まりました。さっそく5年生があいさつ運動をする中で、元気にスタートしました。始業式の中ではこのような話をしました。『2学期は皆さんに発明家になってほしいと思っています。「必要は発明の母」という言葉を聞いたことがありますか？今、世界中でコロナウイルスが感染し、世界中の人々の生活が大きく変化しました。できなくなってしまったこともたくさんありますが、新しく生まれたものもたくさんありますね。リモートでのTV出演などは、もはや当たり前のことになり、忙しい人気者の中には、家からの出演が可能になったために、番組が増えたなんていう人もいるかもしれません。1学期のあいさつ運動を思い出しても、皆さんの工夫でたくさんの「発明」があったように思います。「できない！こまった！どうしよう！」と本気で考えたときに発明は生まれるものです。2学期は修学旅行や遠足、冒険活動にお芋ほり、そして、延期になっていた運動会とたくさんの行事があります。「できない！こまった！どうしよう！」と思った時がチャンスです。』

1学期の終業式では、児童を代表して3年 さんと6年 さんが、半年間の振り返りととも立派に述べることができました。そして、始業式では2年 さんと4年 さんが2学期の目標を堂々と発表しました。TVでの放送は、慣れないと大変緊張するものです。私も1回目の緊張は今でも覚えているくらいです。本当に立派な態度でした。



1学期の振り返り発表



1学期の振り返り発表



刀川前校長先生



宮っ子心の表彰



宮っ子心の表彰



宇河地区児童作品展



2学期の目標発表



2学期の目標発表



TV放送舞台裏

ゆいのき ミニ

速報版 23

R2.10.20

室田和宏

地域・保護者・学校の連携でいじめゼロ！

*** あいさつ運動 魅力協&児童会コラボその2 ***



いじめゼロの取組には、地域や保護者の皆様と力を合わせていくことが不可欠です。今週は「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携したあいさつ運動（本年度2回目）が始まりました。校内での児童会あいさつ運動は5年2組がバトンを引き継いでいます。

今朝の登校時、子どもたちと反対の方向へ歩いてみましたが、みんなとても元気に挨拶ができていました。また、一列に並んで安全に歩くことができていました。あいさつ運動が始まるということで自覚も増しているでしょう。正に地域・保護者・学校と、三者連携の成果が表れています。

本校では毎朝、まごころサポーターの皆様が、ボランティア活動で児童の登校を見守ってくださっています。保護者の皆様からも是非この機会に、まごころサポーターの皆様へお礼のひとことを。

企画委員会からは、14日そして19日の昼の校内放送で、「いじめゼロの合言葉」について全校生への呼びかけがありました。さんからは、「助け合おう」について、

『皆さんは、いじめにあって困っている人を助けたことはありますか。自分だけでは乗り越えられないことも、誰かの力があると頑張れたり、解決できたりするのはいじめに限ったことではないですね。また、いじめをしているといやなことが自分に返ってきます。逆に、助けてあげると自分によいことが返ってきます。もし困っている人がいたら、助けてあげたいですね。』

さんからは、「勇気を出そう」について、
『いじめや嫌なことをされたときに「やめて」などと勇気を出して言うことができますか。もしかしたら相手は「いやだ」と思っていることに気付いていないかもしれません。また、いじめられている人、いやな思いをしている人を見た時、黙って見たままにいませんか。周りの人も勇気を出して困っている人を助けられるようにしましょう。』

自分だけでは乗り越えられないけれど…とか、いやだということに気付いていないかも…とか。思わずうなずいてしまいました。



校舎1階の絵本の国にはいじめゼロ標語のクラス代表作品が掲示されました。次号で紹介します。

ゆいのき ミニ

速報版 24

R2.10.27

室田和宏

「まごころつなぐ修学旅行」 in ふくしま



10月21日(水)から22日(木)は6年生の修学旅行でした。子どもたちにとって一番の心配事が子の修学旅行だったのではないのでしょうか。行き先変更したところからスタートし、夏休み中の下見、行程の検討、感染症拡大防止のための工夫、総合的な学習のカリキュラム編成、さらにはGOTOトラベルの実施等に伴い、出発直前になっても確定しないことも多く、担任は本当に胃が痛くなるような毎日だったことでしょう。「なんとか修学旅行を実現させてあげたい!」そんな熱意が伝わったのでしょうか。6年生の取組は城央小の最上級生としての誇りに満ち、小学校生活のまとめとしての、まさに“修学旅行”を見事に創り上げてくれました。

バスの運転手さんやガイドさん、旅行会社の添乗員さんやカメラマンさん、お世話になった皆さんも、友達同士や担任の先生とお互いに信頼し合い、存分に修学旅行を味わっている子どもたちの姿に、「本当に来られて良かったですね」と。私たち、同行した大人たちの絆までぐっと強くしてしまうような、そんな力を子どもたちは持っているんだと再認識させられました。6年生ありがとう。

いじめゼロ標語 今年の代表作品紹介!

いじめゼロ標語のクラス代表作品を紹介します。一人一人の思いが伝わってきます。

「だいじょうぶ? きみがつらいと ぼくもつらい」	1年1組	さん
「やめなよ!と ゆうきをだして いってみよう」	2年1組	さん
「それはダメ いじめを止める あいことば」	3年1組	さん
「えがおで すごそう いじめを なくそう」	3年2組	さん
「いつだって ぼくたちみんな みかただよ」	4年1組	さん
「考えて 相手がいやなら いじめだよ」	4年2組	さん
「思いやり 人を気遣う その心」	5年1組	さん
「思いやり いじめを止める その勇氣」	5年2組	さん
「無視やかげろ いじめのウィルス 広げるな」	6年1組	さん
「見てるだけ そんなあなたも いじめっ子」	6年2組	さん

ゆいのき ミニ

収穫の秋 大豊作のおいもほり！

速報版 25

R 2.11.4

室田和宏



10月30日(金)の朝、ある男の子が、手に長靴の入った袋を下げて登校してきました。目をキラキラさせて「今日はお芋ほりに行くから、元気が出るように朝ご飯をいっぱい食べてきたんだ!」「そうか!がんばってね。たくさんお芋がとれるといいね。」

こんな会話で1日がスタートすると、とてもすがすがしい気持ちになります。さて、今年の収穫は・・・大豊作でした。両手に抱えきれないほどのお芋を持ち帰っていききました。長靴と一緒に持ち帰るのは無理なので来週にまわしたり、低学年では一度に運びきれないので、2日に分けて持ち帰らせたりと、うれしい悲鳴が聞かれるくらいでした。さて、持ち帰ったお芋のお味はいかがだったでしょうか?

今年、春の苗植えから丁寧にご指導いただいた安納心清様、小野口勝仁様、農園をご提供いただいた渡邊裕様、ありがとうございました。秋晴れのもと、とても豊かな体験活動ができました。



学習指導員・スクールサポートスタッフが着任しました!

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した学校教育活動を支援すること、また、純増する教師等の業務をサポートし、教師が子どもの学びの保障に注力できるようにすることを目的に、学習指導員、及び、スクールサポートスタッフが緊急的に配置されました。期間は2月の末日までとなり、学習指導員については3名で、スクールサポートについては4名で交代勤務をすることになります。どうぞよろしくお願い致します。顔ぶれは以下の通りです。

学習指導員		スクールサポートスタッフ	
○	・・・主に6年をサポート。3年算数補助。 (月、火、金曜日に勤務)	○	(月、水曜日勤務)
○	・・・主に4、5年の書写を担当。(水曜日)	○	(火曜日勤務)
○	・・・主に1から3年の書写を担当。(水曜日)	○	(木曜日勤務)
		○	(金曜日勤務)

ゆいのき ミニ

「心を燃やせ 熱き絆を 城山に」

速報版 27

R2.11.17

室田和宏



令和2年度城山中央小学校の運動会は、344対294、赤組の逆転優勝で幕を閉じました。各学年、一步も譲らぬ熱戦を繰り広げ、最終種目の対抗リレーが始まるまで、得点は拮抗しました。最後まであきらめずに全力を出し切る姿は輝いていました。優勝に一步及ばなかった白組の悔しさは相当のものだったでしょう。それこそが「心を燃やす」ことの証なのかもしれません。講評でも話しましたが、個人走では、途中で転んでも決してあきらめずに最後まで走りぬく姿、団体競技では一致団結して勝利に向かって協力する姿、相手をリスペクトして正々堂々とスポーツマンシップを発揮する姿。会場にいた誰もが感動しました。選手みんな、ありがとう。

コンパクトな開催を目指した運動会、保護者の皆様にはご不便をおかけしたことも多かったと思います。また、PTA執行部の皆さんには安全な開催のためにご尽力をいただきました。残念ながら、一部の方にしか全競技をご覧いただけず、感動を共にできなかったことは大変心残りではありますが、おかげさまで持ちまして、子どもたちは思う存分に力を発揮することができました。私たち職員は、子どもたちの「喜び、くやしき、感動」をしっかりと見守り、受け止めることができました。コロナ禍、新しい様式の中での運動会を、様々な立場から、ともに創り上げていただき、心より感謝申し上げます。

お気づきの点、感想などがございましたら下欄にご記入の上、担任までお寄せください。

***** き り と り *****

お子様のお名前 () 年 () 組

ゆいのき ミニ

速報版 28

R2.11.25

室田和宏

小中一貫教育（乗り入れ授業・合同あいさつ運動）

朝、中学生とすれ違くと、必ず「おはようございます」と挨拶をしてくれてとても良い気持ちになります。私は今年城央小に来たばかりで、「いったい何者なのだろうか？」と思っているのですが、そんなことは関係なし。本当に素晴らしい伝統が根付いているなあと感じます。本市で小中一貫教育への取り組みが始まってしばらく経ちますが、先輩方が、地域と一体となって取り組んできた成果を、身をもって感じることができます。先週は中学校から国語の田代智章先生、数学の直井大輔先生、英語の浦野真寿美先生が来校し、6年生への乗り入れ授業を実施しました。子どもたちの意欲的な様子に、3名とも笑顔で「授業を楽しませてもらいました」と感想を話してくれました。6年生にとっても、中学校の先生の授業は貴重な体験になったことでしょう。



あいさつ運動も中学校と合同で実施しました。本校では企画委員会の児童が「まごころあいさつ日本一週間」とネーミングして、自作のタスキを胸にあいさつ運動をさらに盛り上げました。

10月のいじめゼロ強調月間の取組は、さんの「相談しよう」の呼びかけ、そしてさんの「いじめ月間が終わっても合言葉を忘れずに・・・」ということばで締めくくられましたが、11月に入り、引き続き“あいさつにこめる気持ち”に考えを深めてくれたこと、うれしい限りです。そして、こんな呼びかけがありました。

『今週は「まごころあいさつ日本一週間」です。朝から元気なあいさつができましたか。今日はまごころについてお話しします。まごころとは真実の心。偽りや飾りのない心という意味です。挨拶する時、ただ「おはようございます」と言っていないですか？気持ちの伝わるような挨拶を心掛けてみましょう。一人一人がまごころの気持ちをこめて、日本一の挨拶ができるようにしていきましょう。』

本当に、次から次へと、いろいろなアイデアを繰り出す、
実に頼もしい城山中央小学校の児童会です。

教育相談旬間実施中です！

行事が続く中、全力で頑張り走り続ける子どもたちに、担任がしっかり向き合い、学習や生活に関する悩み事話を聞く大切な時間になっています。コロナ禍ならではの悩み事もあるかもしれません。保護者の皆様からも、心配な点等がございましたら、担任までお声掛けください。

ゆいのき ミニ

速報版 29

R2.11.27

室田和宏

再確認を！感染拡大を防ぐ生活習慣！

あれ？手洗い石鹸の減りが・・・？

保健委員会の児童から担当の先生に報告がありました。「手洗い石鹸がこのごろあまり減っていないようです。手洗いがしっかりできていないのかもしれませんが。」なんて頼もしい児童会なのでしょう。いろいろな視点から、自分たちの生活を自分たち自身で見直すことができること、まさにメタ認知。コロナ禍だからこそ、私たちが目指す“自律”の心が育っているようにさえ感じます。県内でも感染者の数は日々増加し、改めて十分な拡大防止対策を再確認する必要があるそうです。学校でも引き続き、次のような保健指導・健康観察・環境衛生管理の徹底を図ってまいります。ご家庭におきましても、ご理解ご協力をお願い致します。

- ・ 児童への手洗い、咳エチケット、衣服の清潔等の指導を徹底する。
- ・ マスクを必ず着用するよう指導する。
- ・ **毎日必ず検温**して、体調の確認をしてから登校することの徹底と、丁寧な健康観察により、健康に異常のある児童の早期発見に努める。

加えて、今後インフルエンザの流行等も予想されますので、感染拡大防止の観点から、風邪症状の欠席について、12月より3月までの間、次のように対応いたします。

【重要】

発熱、咳などの風邪症状がある場合は、すべて“出席停止”とし、欠席扱いにはしませんので、心配な場合には無理な登校を控え、担任までご連絡ください。

これまでも欠席理由の丁寧な確認を心掛けてきたところですが、出欠は6年間の皆勤賞にも関わってまいります。1学期の欠席状況はすでに通知票にてお知らせしておりますが、11月までの欠席につきまして、出席停止等での対応を望まれる事案などがございましたら、担任までご相談ください。

人権教育研究授業・研修会

12月4日から10日まで人権週間です。コロナ禍、一人一人の人権感覚が試される中、心を新たにしたい1週間になります。本校でも、日常的に取り組んでいる人権教育に少し重みづけをし、各クラスで標語の作成やDVDの視聴などで、意識の啓発を図ります。25日には人権教育に関する研究授業と研修会を行いました。今回、授業を提供してくれたのは4年1組の子どもたちと石川みどり教諭です。「障がいのある人も笑顔になるために」自分たちに何ができるのか。足の不自由な方へのインタビュー動画の「かわいそうって思われるのはちょっと違うんだよねあ」という言葉に心を揺さぶられ、真剣に自分たちのとるべき行動を考える子どもたちの姿に、私たちも自身の人権感覚に向き合う時間となりました。

